

輪島事務所の活動の様子

◇能登地方で大雨◇

8月12日、能登半島では大雨が続き、各地で河川の増水、土砂崩れなどが相次ぎました。輪島市内に大きな被害は出なかったものの、穴水-珠洲を繋ぐ珠洲道路や七尾市中島の249号線で土砂崩れが起き、周辺では迂回路が整備されました。奥能登の主要道路であったため、震災以降、道路事情が悪くなっていたところに、さらに追い打ちをかける事態となりました。

ここ数年、線状降水帯が多発し、全国的に水害等が多くなっていますが、奥能登はまだ令和6年9月の水害の記憶が新しく、警報が発表されるたびに不安になる市民も多いと思われます。



◇ペアレントトレーニング◇

前号でも取り上げた「ペアレント・トレーニング（通称：ペアトレ）」。全8回（90分、1回/2週間）のプログラムが8月13日に無事終了しました。参加してくれたお母さんたちは、講座に参加する前は子どもとどう接したら良いか困り果てていました。しかし、ペアトレでは子どもを肯定的に注目する方法や、子どもへの声掛けのテクニックを学ぶことができます。お母さんたちの表情は回を重ねるごとに明るくなり、最後は「こう接すれば良いんですね」と自ら発言するようになりました。

能登半島地震という悲しい出来事があった中で子育てをする大変さはなかなか理解されず、ヘルプを出しづらい環境が被災地にはあります。この講座で何より嬉しいのは、お母さん同士が仲良くなり、お子さんと良い関係性を築けるようになった結果、母親としての自信を取り戻すことです。平時からサポートの少ない「お母さん支援」。これからも、この事業を続けていこうと思います。

ペアトレを受けて、母親としての自己肯定感が上がりました。震災後、お母さん同士の繋がりが途切れてしまいましたが、ペアトレ、共生地域創造財団のおかげで、元氣になりました。

お母さんへのサポートって、地域にないから、ペアトレの時間が癒しでした。ペアトレを必要としている人は地域にたくさんいると思います。

